

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 及川初彦
JIW第3委員会
委員長 及川初彦
(公印省略)

開催通知

第103回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お繰合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。なお、ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mailにて、事務局に平成25年11月28日(木)までにお知らせ下さい。

注:参加者名簿提出のため、よろしくお願いします。

記

1. 日時 平成25年12月4日(水) 10:20～17:30

2. 場所 菊川工業株式会社 (添付の案内図をご参照下さい)
〒270-1406 千葉県白井市中98-15

当日の交通ご案内(菊川工業株式会社のご厚意によりマイクロバスを手配いただきました)

集合場所:新鎌ヶ谷駅「北総鉄道, 東武鉄道, 新京成電鉄」

東武鉄道の東口ロータリーに菊川工業株式会社のマイクロバスにご乗車ください。

集合時間: 9時40分

※上記時間に間に合わない場合は、お手数ですがタクシーにてお越し下さい。

『東武野田線 高柳駅』よりタクシーで15分

帰路も、新鎌ヶ谷駅までマイクロバスをご利用ください。

※正門の警備室で、溶接学会とお申し出頂き会社名とお名前をお伝え下さい。

警備員の方が事前にお渡ししてある名簿と確認の後、簡単な案内図を渡して下さい
ますので、その案内図に従って事業所内の会場へお越し下さい。

3. 幹事会のお知らせ

昼食休憩時に幹事会を開催いたしますので、役員および幹事(または代理)の方は
ご参集下さいますようお願い申し上げます。会場は第一応接室で、当日ご案内します。

注: 同業者他社の方の見学についてはご遠慮いただく場合がございます。何卒ご了承下さい。

☆ 出席人数が一事業所2名を越えますときは、3人目から、資料費として1名につき
2,000円を納入願います。なお、その場合は、あらかじめ返信メールにてお知らせ下さい。

☆ 昼食について

近隣に食事処がございませんので、ご希望者にはお弁当を手配いたします。

委員会出席回答の際にあわせてお申し込み下さい。 なお当日申込, キャンセルは不可です。
お弁当代:1,000 円 当日おつりのないよう現金にてお支払い下さい。 領収書を発行します。

第103回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

－各種材料の接合及び各種接合技術の比較－

1. 日時:平成25年12月4日(水) 10:20～17:30
2. 場所:菊川工業(株) キクカワテクノプラザ 研修室
3. プログラム (都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

時 間	題 目	講 演 者
10:20～ 11:00	薄板建築構造物および 金属製品における極低歪レーザ溶接技術の開発 (MP-547-2013)	日本大学 生産工学部 長谷川 利之, 大久保 通則 菊川工業(株) ○高松良平, 川上十伍, 宇津野嘉彦
	品質要求の厳しい薄板建築構造物や高意匠内外装金属製品に対しシングルモードファイバーレーザ溶接を適用し従来以上の高品質製品の製造方法を開発した。	
11:00～ 12:00	菊川工業殿の見学 (接合法: レーザ, FSW, スタッド, マグ溶接 等 材料: アルミ, ステンレス, ブロンズ 等) メインである生産工場(Factory-1)、外部展示コーナー、過去事例コーナーの3箇所についてご説明致します。建築物で利用される一般的な内外装製品の製造過程や特殊加工技術紹介、施工事例の紹介等を予定しております。 ※工場見学時は、写真撮影ならびに携帯電話の携行はできませんのでご了承下さい。	
12:00～ 12:50	昼食および休憩 (幹事会の開催)	
12:50～ 13:30	委員会 (軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会) 議事	
13:30～ 14:00	アルミの接合技術 －FSW(Friction Stir Welding－ (MP-548-2013)	(株)UACJ ○境 利郎
	アルミ適用製品を拡大するため、アルミ適した接合技術であるFSWの研究開発を行っている。当社が研究を進めている各種FSW製品、技術について紹介する。	
14:00～ 14:30	高速度カメラを用いた溶接現象の観察及び解析 (MP-549-2013)	(株) ナックイメージテクノロジー ○藤井慎二
	ナックイメージテクノロジー社の高速度カメラの最新モデルとアプリケーションのご紹介	
14:30～ 15:10	極薄板の突き合せ溶接装置 (MP-550-2013)	(株)ムラタ溶研 ○村田彰久
	TIG溶接でレーザ溶接の品質を実現する「狭窄ノズル」	
15:10～ 15:20	休憩	
15:20～ 16:00	レーザによる建築材料の表面処理に関する研究 (MP-551-2013)	日本大学 生産工学部 ○永井香織
	本研究は、レーザを用いてセメント系材料や石材などの表面を溶融、ガラス化させることで、建築材料の表面の強化、意匠性付与が可能である。ガラス層を形成させるためのレーザ条件とセメント系材料の調合、着色ガラス化形成の範囲などについて報告する。	
16:00～ 16:45	(株)ヤナセ時代から引き継がれた技術 (MP-552-2013)	ヤナセテック(株) ○保志隆平
	会社概要、(株)ヤナセ～ヤナセテック(株)に変わったが、過去から引き継がれて来た技術についての紹介。	
16:45～ 17:30	加速する自動車ボディーの高張力鋼板化と補修溶接 (MP-553-2013)	HYC(株) ○吉野 一
	1. なぜ高張力鋼板の使用が加速するのか 2. 高張力鋼板の補修溶接に求められる要求品質 3. 自動車メーカーによる高張力鋼板の補修溶接に関する各種規定 4. 衝突安全性と補修性 5. 溶接品質の評価・管理手法と課題	

※○:講演者

キクカワデクノフ、ミサ。

